

2013年12月号

12月15日(日)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 207



小春日和に誘われて…

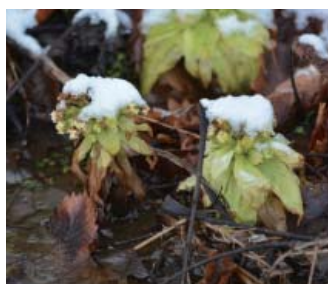
日当たりの良い場所や冬でも凍らない湧水地付近にフキノトウ（アキタブキ）の芽がたくさん出てきました。中には花を咲かせてしまった株もあります。暖かかった11月を春と勘違いして芽吹いてしまったフキノトウは残念ながら実を結ぶことはありません。

12月に入り、ようやくうっすらと雪が積もる日が多くなりました。湿原の空には悠々とオオワシが飛んでいます。いよいよ冬本番です。

～温根内ビジターセンター木道周辺の自然情報～



～温根内ビジターセンター周辺の植物～



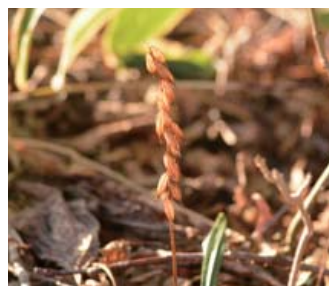
【アキタブキ (フキノトウ)】
 秋田産 キク科
 鶴居軌道沿いの湧水地で花を咲かせています。暖かかった秋を春と勘違いして芽吹いてしまったようです。



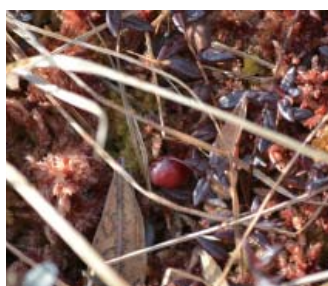
【ヨシの穂】
 葦・芦・蘆など イネ科
 早朝木道を歩くと霜や雪で白くなったヨシの穂を朝日が照らして黄金色に輝く姿を見ることができます。冬の湿原ならではの景色です。



【ドクゼリ (根茎)】
 毒芹 セリ科
 水面が見えてきた木道脇や丘陵地沿いの水たまりの中に小さなタケノコのようなものが浮かんでいます。実は猛毒のドクゼリなので注意が必要です。



【コケイラン】
 小蕙蘭 ラン科
 花が終わった後のコケイランを見たことのある人は少ないはず。根雪になる前の鶴居軌道沿いで見られます。



【ツルコケモモ (果実)】
 蔓荳桃 ツツジ科
 クランベリーに近い種で、ミズゴケ湿原で可愛い赤い実を付けています。雪が積もって地面が見えなくなるまでは見られます。



【モズのはやにえ】
 ミズゴケ湿原のハンノキの枝に昆虫が刺してありました。モズが獲物を枝に刺して保存していると思われます。木の枝をよく見ると他にもはやにえを見つけられるかもしれません。

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

*表紙の写真 上：初冬のハンノキ林 中左：オオワシ 中右：雪をかぶったホザキシモツケ 下：ツルコケモモの実

～温根内ビジターセンター周辺の鳥～

ビジターセンター周辺の森の中では冬鳥のマヒワやベニヒワが群になって飛び回っています。開けたところで見上げると、オオワシやオジロワシの姿も見られます。冬の良く晴れた日は双眼鏡を持って木道を歩いてみましょう。(貸し出し無料)



【セグロセキレイ】
背黒鶺鴒 セキレイ科
北海道では夏鳥(一部越冬)ですが、温根内には冬にやってきます。おなじみのハクセキレイとは色と鳴き声が微妙に違うので比べてみてください。



【ヤマゲラ】
山啄木鳥 キツツキ科
温根内では留鳥ですが、見る機会はとても少ない鳥です。背中から尾にかけて黄緑色で、ピョーピョーピョピョと尻下がりの声で鳴きます。



【ノスリ】
鷹 タカ科
留鳥ですが、冬になると見かける機会が増えます。湿原上空でエサを探していたり、鶴居軌道跡沿いの木の枝に止まっているのを見かけます。



【マヒワ】
真鶺鴒 アトリ科
北海道では留鳥ですが、温根内には冬になるとやってきます。ハンノキの花芽などを食べながら群れて移動する賑やかな様子を観察できます。

○温根内木道周辺で観察された鳥(11月15日～12月14日) ※和名は日本鳥類目録第7版の順
■ヒシクイ■オオハクチョウ■マガモ■ホオジロガモ■タンチョウ■ムナグロ■トビ■オジロワシ■オオワシ■チュウヒ■オオタカ■ノスリ■ケアシノスリ■コゲラ■アカゲラ■ヤマゲラ■モズ■カケス■ハシボソガラス■ハシブトガラス■ハシブトガラ■シジュウカラ■ヒヨドリ■エナガ■ゴジュウカラ■キバシリ■ミソサザイ■ツグミ■セグロセキレイ■カワラヒワ■マヒワ■ベニヒワ■シメ

☆☆☆温根内木道 旬の自然を楽しもう♪「バードウォッチング」☆☆☆

冬の温根内ではたくさんの野鳥を見ることができます。花と違い、飛び回っているので観察しにくいと敬遠している方もいるかもしれませんが、コツさえつかめば簡単に双眼鏡で姿を見ることができます。特に樹木の葉っぱが無い冬の間は鳥をととても見つけやすく、バードウォッチングを始めてみようと考えている方には絶好の季節なのです。



ハシブトガラ

これから春までの間は一年中温根内にいる留鳥と、冬の間だけ温根内に来る冬鳥を観察できます。ビジターセンター裏のバードテーブルではハシブトガラやシジュウカラ、ゴジュウカラなどのカラ類、湿原内のハンノキ林ではマヒワやベニヒワ、エナガなど、湿原の上空を見渡すと、オオワシ、オジロワシ、ノスリ、

鶴居軌道跡ではカケスやツグミ、キツツキ類など、湧水地ではミソサザイやセグロセキレイ、タンチョウなど、周辺の環境によって観察できる鳥も変わります。もちろんここに挙げた野鳥は代表的なもので、ほかにもたくさんの野鳥を観察できます。



ベニヒワ



オジロワシ

ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出ししています。双眼鏡の使い方や、バードウォッチングのアドバイス、わからない野鳥など、お気軽にスタッフまで声をかけてください。

☆☆☆☆自然ふれあい行事「リースを作ろう」が開催されました☆☆☆☆



12月8日(日) パークボランティアの藪本氏を講師に迎え、クリスマスを前に、ビジターセンターでリースを作るイベントが開催されました。事前に用意した指導員手作りのヤマブドウとツルウメモドキの土台に、様々な大きさの松ぼっくりや、木の実、オーナメント、リボンなどで飾り付けをして、クリスマスを演出するオリジナルリース作りを楽しみました。毎年参加している常連さんはリースを二重にした大作を完成させました。このイベントは毎年好評で、今年も早々と定員が一杯になってしまいました。参加者数：16名

☆☆☆☆イベントのご案内(1月) 事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込みはこちらまで☎0154-65-2323

♪厳冬の湿原ハイク

〔日時〕1月19日(日) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

冬の湿原はどうなっているんだろう? 厳冬期の湿原を歩きながら楽しく動植物を観察します。

○塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

⇒お申し込みはこちらまで☎015-487-3003

♪連凧を作って揚げよう

〔日時〕1月11日(土) 10:00～12:00 〔定員〕15名(小学生は保護者同伴)

〔参加費〕材料代:100円

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター(あるこっと)

手作りの連凧を作った後は、広々とした凍った塘路湖の上で凧揚げをして楽しみましょう。

木道を歩く際には足元に十分ご注意願います!



本格的な寒さを迎える前の今時期の木道は、雪が降っても屋の間に溶けてしまい、翌朝つるつるの状態になってしまうことがあります。雪が積もって安定するまでは歩く際に滑らないよう十分ご注意願います。また、冬の間は木道は除雪されませんので、長靴等の冬装備で来てください。歩くスキーとスノーシューの無料貸し出しは例年通り1月上旬に開始する予定です。こちらもお気軽にご利用ください。

※近隣施設の釧路市湿原展望台の遊歩道が損壊のため一部閉鎖になっております。温根内から湿原展望台まで歩く場合は注意が必要です。詳細は湿原展望台までお問い合わせください。TEL 0154-56-2424

～年末年始休館日のお知らせ～



本年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願いたします。

年末年始休館日日程

12月29日(日)～1月3日(金)

月刊 温根内通信 No.207

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036

北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

開館時間: 10:00～16:00(4月～10月は17:00まで)

休館日: 毎週火曜日(12/29～1/3は休館) 入館無料